

三島市長 豊岡 武士 様

三島市議会議長 堀江 和雄

令和8年度予算編成に向けての意見・要望事項について

三島市議会は、9月5日に予算決算委員会に令和6年度の決算審査を付託し、9月10日から18日のうち6日間で、総務、福祉教育、経済建設の各分科会において決算に関する質疑等を行うとともに、当局に対する令和8年度予算編成に向けての意見・要望を取りまとめ、9月30日の予算決算委員会で決定しました。

つきましては、令和8年度予算編成に向けた意見・要望事項を下記のとおり提出します。

記

1 スマート市役所推進事業

スマート市役所推進事業において、市民向けデジタルサービスを実施し、市民の利便性の向上と庁内職場環境のデジタル化による職員の働き方改革と業務効率化を推進していることは評価している。

令和8年度においても、三島市スマート市役所宣言に基づき、デジタル技術を活用し、新庁舎整備も考慮した上で、より便利で質の高い市民サービスの提供に努められたい。

また、全庁的・横断的なDX推進のための人材育成の体制を整備し、生成AI、ノーコードツール、RPA等のデジタル技術のさらなる活用を検討し、より一層、職員の働き方改革と業務効率化を図るよう要望する。

2 各中学校施設補修整備事業

近年の夏の暑さは異常ともいえる状況であり、生活には空調が必須となっている。これは、学校で学業に励む児童・生徒についても同様である。

既に普通教室への空調設置は完了しており、今後は授業で使用する頻度の高い特別教室への空調設置が優先されるものと推察するが、授業以外にも部活動や災害時の避難所としても使用される体育館への設置も喫緊の課題であると考える。

福祉教育委員会において視察を行った京都府八幡市では、体育館への空調設置を令和元年度から毎年2校ずつ実施し、より効果的な設備へと改善を重ねつつ、

全12校の小中学校への導入を完了した。

本市においても中学校への空調設備設置可能性調査の結果を踏まえ、気候特性や利用方法も考慮した上で、体育館への計画的な空調設備の設置に努められたい。

3 サテライトオフィス進出事業費補助金

サテライトオフィス進出事業費補助金について、市ホームページ上における対象業種の記載が不明瞭であるため、本来対象となる企業が申請を諦めている可能性があることから、ホームページの記載内容を再検討し関係機関への周知を徹底するように努められたい。

また、3年間の補助期間終了後に市外へ移転してしまう事例があることから、進出企業の動向を踏まえ、補助金の返還規定をはじめ、制度の見直しを検討されたい。